

中国四国教育学会

第74回大会プログラム

2022年12月3日(土)・12月4日(日)

香川大学



<目次>

大会参加要領	1
大会日程	2
自由研究発表(第一日)	7
公開シンポジウム	18
自由研究発表(第二日)	19
ラウンドテーブル	30

現時点では対面開催を予定しておりますが、状況によって変更する可能性もございます。最新の情報は学会ホームページ <http://cssse.hiroshima-u.ac.jp/> をご確認ください。

大会参加要領

0. はじめに

以下にご案内する大会の枠組・参加要領につきましては、状況に鑑み変更される場合がございます。本学会 HP にて最新の情報を掲載いたしておりますので、大会開催前に逐次ご確認を下さいませ。

学会 HP : <https://home.hiroshima-u.ac.jp/cssse/index.html>

1. 大会の開催形式と会場案内

自由研究発表、シンポジウム、ラウンドテーブル、総会ともに対面での開催をいたします。

会場図は3-4ページを、アクセスについては香川大学 HP をご覧ください。

お車で越しの方は、入構はできません。お手数ですが、近隣のコインパーキングをご利用ください。

2. 大会への参加申込

大会参加申込期間

10月24日(月)～11月27日(日)

学会 HP に、参加申込 URL を貼付いたしますので、そちらよりお申し込みください。

大会参加費：正会員2,000円（学生会員1,000円）臨時（当日）会員1,000円

参加申込を頂いた方に会費納入情報をご案内いたしますので**必ず事前にお振込ください。**

参加申し込み後のキャンセルや登録内容の変更については一切対応いたしかねます。

受付にて、参加申し込みいただいた方は名札をお受取りください。

受付開始時間 一日目：8:30 二日目：9:00

※感染症対策を徹底いたしております。37.5℃以上の発熱がある方、咳、のどの痛みなどの体調不良がある方の入構はお控えいただきますようお願い申し上げます。またできるだけ不織布マスクの着用にご協力願います。

3. 各部会の持ち方について

■自由研究発表要領

自由研究発表 個人研究：発表15分、質疑5分

共同研究：発表30分、質疑10分

(ただし、発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。)

全体会は、各部会で最後に20～40分程度行います。発表者は必ず参加してください。

感染症予防対策を徹底の上、ご参加ください。ご発表後は壇上及びマイク機器等の除菌を、離席前・着席前にはご自身の机・椅子などの消毒にご協力ください。また、休憩時には会場の換気をお願いいたします。

自由研究発表における共同研究者の氏名は、原則、「発表申込用紙」に記入された順序に従っています。また、○印は口頭発表者です。

発表者は、レジュメを30～40部程度ご用意いただき、当日ご持参ください。万一不足しても、大会本部ではコピー等はいたしかねますのでご了承ください。

液晶プロジェクタを用いて発表される方は、各発表会場の開始20分前までに会場にお越しいただき、機器の調整・テストを行ってください。

発表の際、液晶プロジェクタを用いてコンピュータ画面を映写される方は、ノートパソコン（Windows搭載）と電子媒体（USB メモリ）に記憶させたデータをご持参ください。

各教室には、HDMI・RGBがございます。ただし、Mac や Surface を使用される場合、接続するコネクターは大会校でご用意しておりませんので、ご注意ください。

発表題目は、大会プログラムに記載されているものと同じものを用いてください。

発表取り消しがあった時間帯は、休憩時間に充てられますのでご了承ください。

■総会・ラウンドテーブル

対面での開催をいたします。ラウンドテーブルについての配信等は大会校ではお引き受けいたしません。

■公開シンポジウム

対面およびオンラインを通じたハイブリッド開催をいたします。

公開シンポジウムのみ大会参加費をお支払いされずに、Zoom・対面にてご参加いただけます。
オンラインでの参加方法はHPにて大会数週間前に掲示をいたしますので逐次ご確認くださいませ。

4. その他

大会第一日目（土）、二日目（日）とも、学内の食堂で昼食をおとりいただけます。
やむをえず発表を取り消される場合は、速やかに学会事務局までご連絡ください。
その他ご不明な点がございましたら、大会実行委員会までお問い合わせ願います。

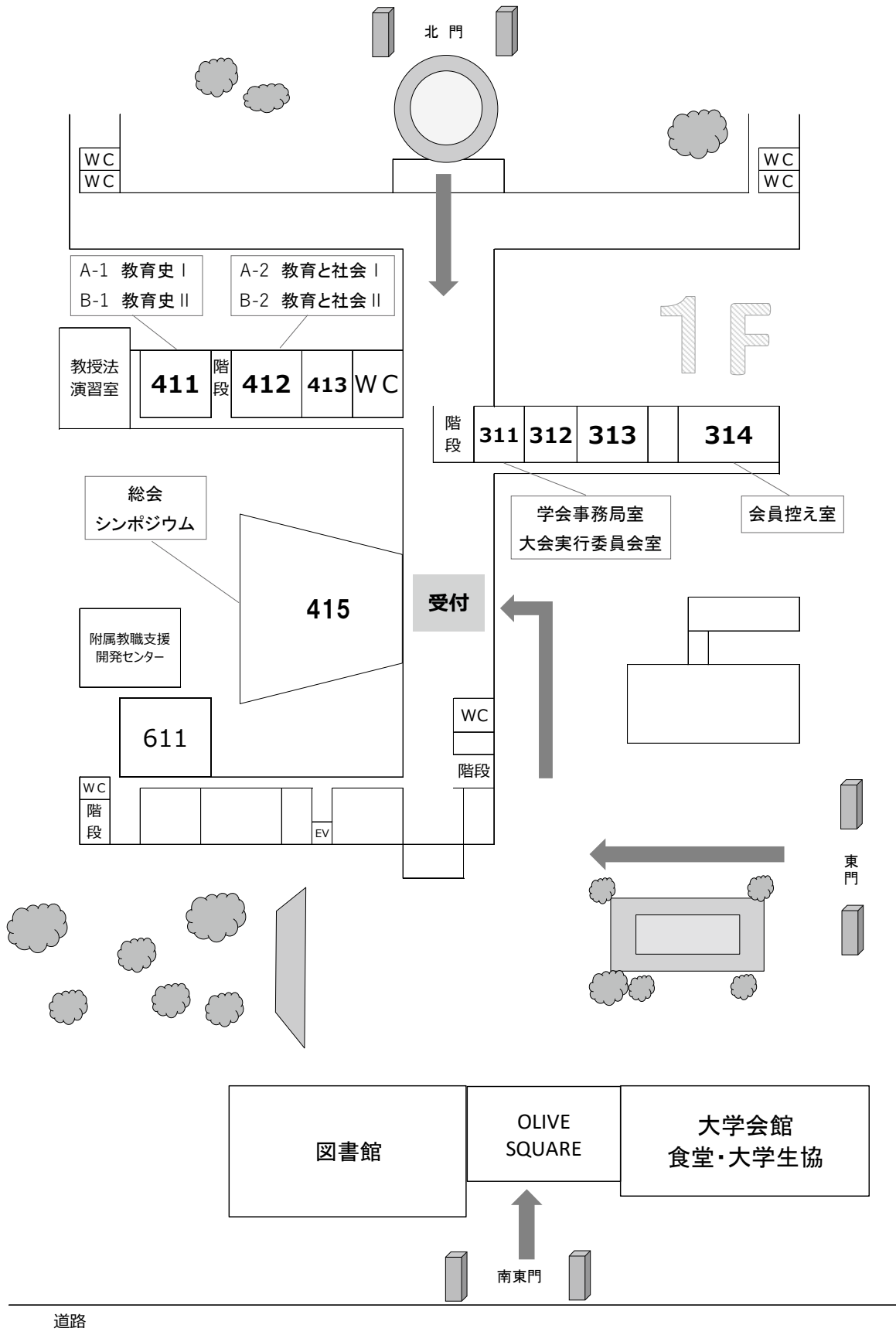
5. 連絡先

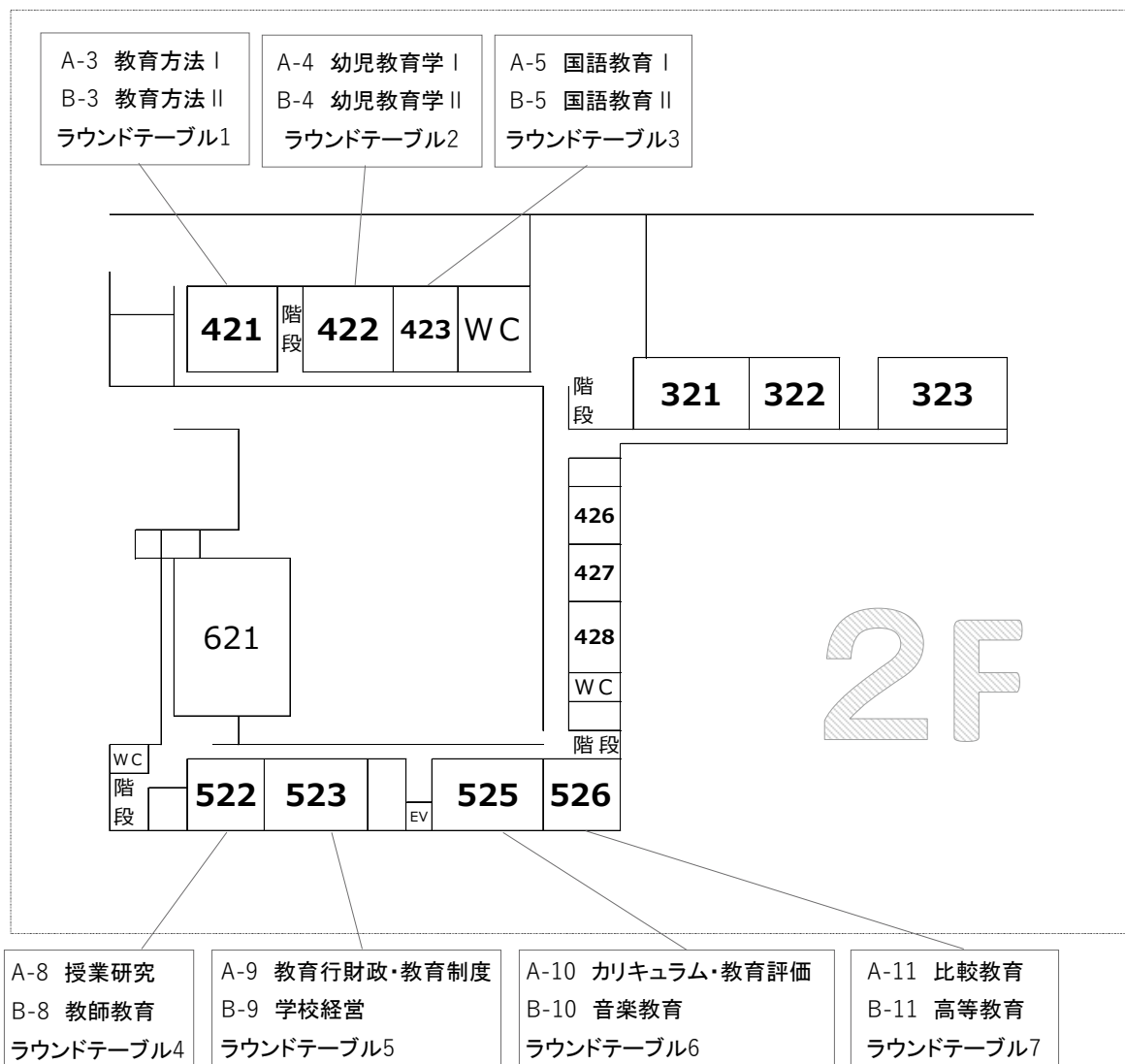
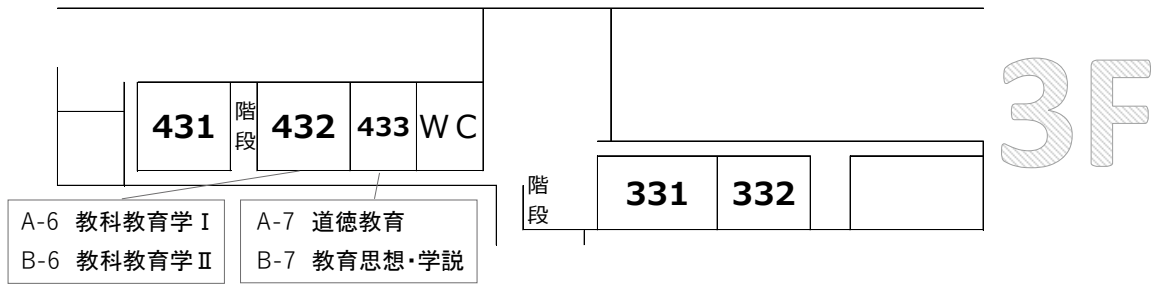
大会実行委員会および学会事務局連絡先	
中国四国教育学会 第74回大会実行委員会	
〒760-8522 香川県高松市幸町1-1 香川大学 教育学部	
委員長 櫻井佳樹	
委員 一色玲子 岡田知也 小方朋子 神野幸隆 塩井実香 中住幸治 西本佳代 松井剛太 毛利猛 柳澤良明 山岸知幸（五十音順）	
学会事務局	
〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院人間社会科学研究科教育学講座内	
082-424-6743（事務局） cssse@hiroshima-u.ac.jp	
事務局長：山田浩之 事務局幹事：宮本勇一・劉幸・大矢龍弥	

大会日程

一日目（12月3日（土））			二日目（12月4日（日））		
8:30～	受付開始	頁	9:00～	受付開始	頁
9:30～ 12:30	自由研究発表		9:30～ 12:30	自由研究発表	
	教育史Ⅰ 部会	7		教育史Ⅱ 部会	19
	教育と社会Ⅰ 部会	8		教育と社会Ⅱ 部会	20
	教育方法Ⅰ 部会	9		教育方法Ⅱ 部会	21
	幼児教育学Ⅰ 部会	10		幼児教育学Ⅱ 部会	22
	国語教育Ⅰ 部会	11		9:30～ 12:30 国語教育Ⅱ 部会	23
	教科教育学Ⅰ 部会	12		12:30 教科教育学Ⅱ 部会	24
	道德教育 部会	13		教育思想・学説 部会	25
	授業研究 部会	14		教師教育 部会	26
	教育行財政・教育制度 部会	15		学校経営 部会	27
カリキュラム・教育評価 部会	16	音楽教育 部会	28		
比較教育 部会	17	高等教育 部会	29		
13:30 ～ 16:30	公開シンポジウム	18	13:30 ～ 15:30	ラウンドテーブル	30
16:40 ～ 17:40	総会				

香川大学 会場配置図





『教育学研究紀要（CD-ROM版）』第68巻（2022年度刊行予定） 原稿募集

中国四国教育学会では、『教育学研究紀要（CD-ROM版）』第68巻を刊行するため、広く会員の方々から投稿原稿を募集いたします。つきましては、下記に従い、投稿原稿を提出いただきますようご案内申し上げます。

記

1. 原稿提出締切（厳守）

2022年12月11日（日）23:59まで

2. 原稿提出方法

今年度の投稿はオンライン提出にて行う予定です。

投稿フォームは学会 HP に大会後に掲載いたします。

学会 HP「機関誌」内、「教育学研究紀要掲載申込について」

<http://cssse.hiroshima-u.ac.jp/html/keisai.html>

3. 投稿資格（編集規程・要綱をよくご確認ください。）

刊行当該年度の学会大会で発表した者

論文原稿は未刊行のもので、当該年度の学会大会で発表したものに限り。

投稿件数は、原則として1人1編とする。共同研究など連名で投稿する場合は2編まで許可する。

ただし、代表執筆者として投稿できるのは、個人研究・共同研究を問わず、1人1編までとする。ラウンドテーブルなどの成果に基づく論文に関しては、編集委員会の承認を経て別途掲載することができる。

4. 原稿提出に関する注意事項

(1) 原稿執筆にあたっては、**必ず原稿執筆テンプレートをご使用ください。**学会 HP に掲載されている「中国四国教育学会倫理綱領」、および『教育学研究紀要（CD-ROM版）』編集規程および執筆要綱をご参照ください。

なお、**掲載申込用紙、原稿執筆テンプレート（個人研究用） / （共同研究用）、投稿者チェックリストは学会 HP に掲載しておりますので、ダウンロードしてご使用ください。**

(2) 原稿は、**完成原稿**をご提出下さい。原稿執筆者による校正はございません。

(3) 紀要掲載費は、**個人研究及び共同研究いずれも5,000円**です。掲載費納入締切は原稿提出日に準じます。

(4) **例年、書式の設定等、原稿執筆要綱を遵守されていない原稿が数多く見受けられます。原稿執筆要綱に著しく反する原稿については受理いたしかねます。ご注意ください。**

※研究成果の公表は学術的根拠に基づき、虚偽や剽窃等のないようご配慮願います。

以上

なお、ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

〔お問い合わせ先〕

広島大学大学院人間社会科学研究科 教育学講座内

中国四国教育学会事務局

『教育学研究紀要（CD-ROM版）』担当 劉 幸

Tel : (082) 424-6746 E-mail : csssej@hiroshima-u.ac.jp

大会 第一日

A-1 「教育史 I」部会

9:30 ~ 12:30

411 講義室

司会：白石 崇人
(広島文教大学)

- | | | | |
|---|-------|----------------------------------|-----------------------------|
| ① | 9:30 | 石井漠の「舞踊教育」の特徴 | 沖中 春志郎
(エリザベト音楽大学大学院・院生) |
| ② | 9:50 | 堀合文子が行う保育はなぜ「何でもやってあげる保育」と呼ばれたのか | 李 睿苗
(広島大学大学院・院生) |
| ③ | 10:10 | 長田新の中国講演(1942)に関する歴史学的考察 | 劉 幸
(広島大学) |
| ④ | 10:30 | A. S. ニールによるリトミック教育の評価に関する一考察 | 持田 洸
(早稲田大学大学院・院生) |

【休憩10分】

- | | | | |
|---|-------|---|---------------------|
| ⑤ | 11:00 | 19世紀中葉の地方都市トゥルーズにおける医学生動態 | 大矢 龍弥
(広島大学) |
| ⑥ | 11:20 | 「少女雑誌に見られる愛読者大会と少女読者たち」
— 『少女世界』・『少女倶楽部』を中心に — | 田中 卓也
(育英大学) |
| ⑦ | 11:40 | 戦後漢文教育実践史の展開
— 平成年代を中心に — | 渡辺 春美
(高知大学名誉教授) |

12:00 【全体会】

A-2「教育と社会Ⅰ」部会

9:30～12:30

412講義室

司会：都島 梨紗
(岡山県立大学)

- ① 9:30 教職を志望しない教員養成学部学生の経験 金弘 実久
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 不登校経験の語り方の変容 佐々木 龍平
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 総合的な学習／探究の時間における指導の課題
- 山本 優
(河原医療福祉専門学校)
 - 宇田 響
(くらしき作陽大学)
 - 佐々木 龍平
(広島大学大学院・院生)
 - 山田 浩之
(広島大学)
 - 尾川 満宏
(広島大学)

【休憩10分】

- ④ 11:00 情報モラル教育のプログラム開発 (2)
- 東地 真穂
(愛媛大学教職大学院・院生)
 - 梅田 崇広
(愛媛大学)
 - 白松 賢
(愛媛大学)
 - 作田 良三
(松山大学)
 - 尾川 満宏
(広島大学)
- ⑤ 11:40 ボーダーフリー大学生の授業外での学習実態 宇田 響
(くらしき作陽大学)
- ⑥ 12:00 教員免許更新制はなぜ廃止されたのか？ 山田 浩之
(広島大学)

12:20 【全体会】

A-3 「教育方法 I」 部会

4 2 1 講義室

9 : 30 ~ 12 : 30

司会 : 尾島 卓
(岡山大学)

- ① 9:30 ケアする主体としての教師の専門性に関する一考察
阿蘇 真早子
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 ヴァン＝マーネンの現象学的記述の方法とその分析に関する一考察
藤原 由佳
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 生成文法派の第二言語習得理論に関する一考察
－教育内容論を中心として－
栗村 正仁
(美作大学)
- ④ 10:30 批判的リテラシー教育における教育実践の教育方法学的検討
－ V. バスケスの論考を手がかりとして－
黒谷 和志
(北海道教育大学)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 フランスにおける社会に開かれた教育に関する一考察
－グルノーブル市ラ・ヴィルヌーブ区50周年－
赤星 まゆみ
(西九州大学)
- ⑥ 11:20 「共に在る」ことの教育実践に関する研究
○深澤 広明
(安田女子大学)
○櫻井 瀬里奈
(安田女子大学大学院・院生)
○藤中 真帆
(安田女子大学大学院・院生)

12:00 【全体会】

A-4「幼児教育学Ⅰ」部会

422講義室

9:30～12:30

司会：松井 剛太
(香川大学)

- ① 9:30 幼児のリトミックと子どものリトミックの特徴
鹿瀬島 夏子
(エリザベト音楽大学大学院・院生)
- ② 9:50 A 幼稚園における保育者の子ども理解に関する実践的研究
ー保育記録に着目してー
○村上 真理子
(佛教大学大学院・院生)
柏 まり
(佛教大学)
佐藤 和順
(佛教大学)
- ③ 10:10 1歳児クラスの給食場面における環境構成に関する研究
曾 玉儒
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 保育士は保育日誌とどう付き合ってきたのか
ー保育所保育指針(2008)以降の世代の保育士に焦点をあててー
前田 寛子
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 1964年以降の『保育の手帖』における保育内容研究会の議論の検討
ー自由保育的発想への影響を観点としてー
武内 裕明
(弘前大学)
- ⑥ 11:20 外国籍の子どもの保育に関する実践的研究
ー日本語コミュニケーション支援を必要とする子どもに着目してー
○柏 まり
(佛教大学)
佐藤 和順
(佛教大学)
- ⑦ 11:40 保育実践における子ども「主体」の捉え
深澤 悦子
(広島都市学園大学)

12:00 【全体会】

A-5 「国語教育 I」 部会

4 2 3 講義室

9 : 30 ~ 12 : 30

司会 : 余郷 裕次
(鳴門教育大学)

- ① 9:30 「貧困」を生きる子どもたちに必要な国語学力の研究
森川 蓉子
(関西学院大学大学院・院生)
- ② 9:50 高等学校古典学習の開発的研究
森島 千晶
(大阪教育大学大学院・院生)
- ③ 10:10 対話を重視した職業的コミュニケーション教育の研究
竹田 彩子
(大阪教育大学大学院・院生)
- ④ 10:30 「話すこと・聞くこと」における語り合いの考察
ー自己を語る活動を中心にー
伊井 健
(関西学院大学大学院・院生)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 中高連携を目指した漢文読解リテラシーの開発
○小路口 真理美
(大阪教育大学)
○田村 圭佑
(広島県立大竹高等学校)
○小林 信之
(大阪教育大学附属池田中学校)
○今井 博登
(大阪教育大学附属平野中学校)
- ⑥ 11:40 文学的コンピテンシーを育成する国語科授業の開発研究
○土山 和久
(大阪教育大学)
藤井 義光
(大阪教育大学附属平野小学校)

12:00 【全体会】

A-6 「教科教育学Ⅰ」部会

432 講義室

9:30 ~ 12:30

司会：間瀬 茂夫
(広島大学)

- ① 9:30 文学作品を「批評する力」を育てる高等学校国語科学習指導に関する研究 皆戸 信乃
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 教室内における証言的不正義への対抗をめざした社会科単元開発研究 田中 峻斗
—非対称な子ども間関係における議論に焦点を当てて— (広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 高等学校美術科における授業の導入方法の検討 木村 祐介
—仮面の制作における表現する力に着目して— (広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 社会科教育は家庭での「教育虐待」に対して、どのように
応えられるのか 高見 史織
—家庭科教育・特別活動の学習指導要領の比較検討を通して— (広島大学大学院・院生)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 昭和20年代の音楽科学習指導要領と検定済教科書における
音楽観 北村 慎祐
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 国語の学力と数学的文章題における意味理解の関係性に関
する一考察 ○織田 佳乃子
(高知市役所)
○中村 直人
(高知工科大学大学院)
- ⑦ 12:00 素材文の難易度と言語活動に着目した高等学校英語教科書
の通時的比較 浅井 智雄
(福山平成大学)

12:20 【全体会】

A-7 「道德教育」部会

433 講義室

9:30 ~ 12:30

司会：杉田 浩崇
(広島大学)

- ① 9:30 自然発生的なリーダーを育成する道德授業の開発
ー「共感性」に着目してー 松見 育花
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 認識的不正義の是正原理に関する一考察
ー「認識的正義の徳」を涵養することの可能性と限界ー 板野 誠
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 「豊かな心」を育成する道德教育を考える
ーガードナーの多重知能理論を根拠にしてー 青木 凌河
(岡山大学大学院・院生)
- ④ 10:30 道德性の育成に関する批判的考察
ーホワイトヘッドの人間形成論に着目してー 藤原 翔
(広島大学大学院・院生)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 道德の内容項目「社会正義」に関する基礎的考察
ージュディス・シュクラーの議論からー 高須 明根
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 J. ハーバーマス理論における「真理」に関する道德性の考察
ー教員養成課程の道德的判断、道德的心情の両側面から考
える「真理」分析からー 作田 澄泰
(九州女子大学)

11:40 【全体会】

A-8「授業研究」部会

522講義室

9:30～12:30

司会：竹内 元
(宮崎大学)

- ① 9:30 民主的集団づくりとしての授業研究に関する一考察 明 月
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 多様性社会への適応を目指した中学校音楽科における授業実践研究 齋藤 紘希
実践研究 (広島市立日浦中学校)
—集団における学習者の立場に着目して—
- ③ 10:10 ICEアプローチを援用した学習評価の実践的研究 松尾 朗
(山口大学大学院・院生)
- ④ 10:30 インクルーシブ教育時代の学習集団における教育評価のあり方 吉田 茂孝
(大阪教育大学)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 ICTを活用した遠隔地間での現象学的教育学に基づく授業研究モデルの開発 宮原 順寛
(北海道教育大学)
- ⑥ 11:20 ドイツにおけるビデオ記録に基づく授業研究に関する一考察 ○吉田 成章
察 (広島大学)
○市川 博文
(広島大学大学院・院生)
○大城 朝周
(広島大学大学院・院生)
○菊池 健太
(広島大学大学院・院生)
○安藤 和久
(広島大学大学院・院生)
○宮本 勇一
(広島大学)
- 12:00 【全体会】

A-9 「教育行財政・教育制度」部会

523 講義室

9:30 ~ 12:30

司会：黒木 貴人
(福山平成大学)

- ① 9:30 中国におけるチベット族の英語教育に関する研究
ー青海省 A 民族学校を事例としてー 田 芯語
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 学校と地域の連携・協働における教育行政の役割に関する
研究 藤井 冨佳
ー地域学校協働活動推進員の活用に注目してー (広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 上海市における幼稚園の費用負担に関する研究 馬 承昭
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 義務教育段階における公立の不登校特例校に関する研究 俵 龍太郎
ー学校の設置過程に関する議論に着目してー (広島大学大学院・院生)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 子どもオンブズパーソン制度をめぐる議論 相馬 宗胤
(高松短期大学)
- ⑥ 11:20 米国カリフォルニア州における教員専門職基準と教員免許
制度の関連 藤本 駿
(高松大学)
- ⑦ 11:40 『生徒指導提要』(改訂版)の内容分析 石田 美清
(順天堂大学)

12:00 【全体会】

A-10「カリキュラム・教育評価」部会

525講義室

9:30～12:30

司会：熊井 将太
(山口大学)

- ① 9:30 挑戦する生徒を育成するカリキュラム・マネジメントに関する研究
井手之上 訓芳
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 歴史教育の〈ディシプリナリー(学問的)・アプローチ〉の
カリキュラムを巡る論点
ーイングランド歴史教育界における P. Rogers の再評価研究
を通してー
玉井 慎也
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 「自立に向かう生徒」が育つカリキュラム・マネジメントに
関する研究
ー吉本均の集団づくり論に着目してー
秋本 摂子
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 P. フレイレのサンパウロ市教育改革における教科教育に関
する一考察
ーポルトガル語科および英語科に着目してー
佐藤 雄一郎
(大阪青山大学)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 高等学校における探究学習の意義に関する一考察
○小野寺 香
(奈良女子大学)
○小川 佳万
(広島大学)
- ⑥ 11:40 ドイツ各州の基礎学校における学期末評価の改革動向
卜部 匡司
(広島市立大学)

12:00 【全体会】

A-11「比較教育」部会

526講義室

9:30～12:30

司会：班 婷

(広島文化学園短期大学)

- ① 9:30 タイにおける教育格差の是正に向けたローカル・メカニズム
ー「格差是正のための地域に基盤を置く教育運営」事業の
構造ー 橋本 拓夢
(広島大学大学院・院生/日
本学術振興会特別研究員)
- ② 9:50 モルディブにおけるモスクを通じて創出されるムスリムネス
研究 太田 洋舟
ーアリフ・ダール環礁オマドゥ島の事例よりー
(在モルディブ日本国大使
館 専門調査員)
- ③ 10:10 中国における義務教育課程の編成基準に関する一考察 ○李 憶南
(山梨学院大学)
楊 丹
(広島大学大学院)
- ④ 10:30 中国における父親の子育て意識に関する一考察 趙 碩
中国江蘇大学
○楊 丹
(広島大学大学院)
李 憶南
(山梨学院大学)
毛 月
(広島大学大学院)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 東南アジアにおける中国語教科書の「文化」に関する一考察 劉 国彬
(福山大学)
- ⑥ 11:20 キルギスの大学における非母語話者教師による日本語授業
の理想と現実 西條 結人
ー日本語専攻学習者と非母語話者教師への質問紙調査からー
(四国大学)
- 11:40 【全体会】

公開シンポジウム

415 講義室
ハイブリッド開催
13:30 ~ 16:30

SDGs 時代の教育

—教育・学習における変革・変容(transformation)にどう向き合うか—

【趣旨】

ITの導入によって業務の効率化を図るIT化ではなく、デジタルによって既存のビジネスモデルそのものの変革を目指すDX(Digital Transformation)に示されているように、変革・変容(Transformation)が現代社会のキーコンセプトになりつつある。2015年に国連総会で制定され2030年までに達成すべきゴールとされているSDGsにおいても、その実現のためには既存の社会や価値観の変革・変容(Transformation)が不可欠であるとされている。SDG4「質の高い教育をみんなに」の下位目標とされるターゲットSDG4.7においては、グローバル・シチズンシップ教育など持続可能な社会を創る個々人の価値観形成や行動レベルでの「深い変容」が求められている。だが未だ十分な成果をもたらしたとは言えない。学ぶ目標を就職においていた既存の学校教育モデルから生涯にわたり学び続け、時に学び直しを保障する生涯学習・リカレント教育などの、新しい学びの「変革」とは何か、人々が幸福に暮らすうえでその土台であった地球環境が危機的状況に直面する中で、これから生きる未来の子どもたちには、いかなる教育・学習が必要なのか、議論してみたい。

【司会者】

櫻井 佳樹(香川大学)

丸山 恭司(広島大学)

【基調講演】

トーマス・フール Thomas Fuhr(フライブルク教育大学)

„Gesellschaftliche und individuelle Transformation: Theorien des transformativen Lernens in Kindheit, Jugend und Erwachsenenalter“

「社会と個人のトランスフォーメーション：子ども・若者・成人期における変容的学習の理論」

【パネルディスカッション】

【提案者】

<概論> SDGs時代における教育のあり方

小林 亮(玉川大学)

「正義の対立」とそれを乗り越えるメタ認知の地平探究

— ユネスコの地球市民性育成課題(GCED)の文脈で

<学校での実践>

神野 幸隆(香川大学)

持続可能な社会を創る政治的主体者の育成を目指す社会科授業

【指定討論者】

毛利 猛(香川大学)

大会 第二日

B-1 「教育史Ⅱ」部会

411 講義室

9:30 ~ 12:30

司会：梶井 一暁
(岡山大学)

- ① 9:30 清末における理科教員養成の実態
班 婷
(広島文化学園短期大学)
- ② 9:50 戦後の地理教育は何を期待されてきたのか
—小中高の内容の系統性に着目して—
守谷 富士彦
(桃山学院教育大学)
- ③ 10:10 沼田家文書にみる漢学知と近代教育の展開
—日本東洋教育史の一断章—
○白石 崇人
(広島文教大学)
○井上 快
(東九州短期大学)

【休憩10分】

- ④ 11:00 大正期における岡山県倉敷小学校の自律学習
—守安了による学級文庫の創設と展開—
鈴木 和正
(常葉大学)
- ⑤ 11:20 名古屋市における高等女学校卒業生の進路
烏田 直哉
(東海学園大学)
- ⑥ 11:40 和辻哲郎の「教養」理念形成におけるニーチェ思想の受容
櫻井 佳樹
(香川大学)

12:00 【全体会】

B-2「教育と社会Ⅱ」部会

412講義室

9:30～12:30

司会：中田 周作
(中国学園大学)

- ① 9:30 不登校児童生徒の保護者の経験
上口 朋佳
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 中国人短期留学生在が語る留学経験
厉 雪純
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 生理の貧困から生理の尊厳へ
—生理の尊厳啓発コンクールの開催を通じて—
中嶋 裕子
(福山平成大学)
- ④ 10:30 大学の運動部活動における集団凝集性とソーシャルスキルの獲得との関連について
李 斯嘉
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 中国における中学生の文化資本
包 婉蓉
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 工業系女子のキャリア形成
○尾川 満宏
(広島大学)
尾場 友和
(大阪商業大学)
- ⑦ 11:40 共生社会をめざすインクルーシブ教育の授業実践について
の一考察
遠藤 文子
(聖カタリナ大学短期大学部)
- ⑧ 12:00 社会変動のなかの教育改革 (2)
—「Society 5.0」に基づく「学校教育の情報化」—
池田 隆英
(岡山県立大学)
- 12:20 【全体会】

B-3 「教育方法Ⅱ」部会

421 講義室

9:30 ~ 12:30

司会：福田 敦志
(大阪教育大学)

- ① 9:30 包括的性教育における反同性愛嫌悪・トランス嫌悪
櫻井 瀬里奈
(安田女子大学大学院・院生)
- ② 9:50 イエナ大学附属学校外へのイエナ・プランの展開に関する研究
－イエナ大学教育科学研究所による教育学週間に着目して－
安藤 和久
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 生活指導論における生活綴方の位置と課題
－宮坂哲文批判の再考を中心に－
澤田 百花
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 成長の可視化を目指す保育体験カリキュラムの試行
－言葉を紡ぐことを中心として－
中島 義和
(広島女学院大学)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 学校における自治に関する一考察
竹内 元
(宮崎大学)
- ⑥ 11:20 ハリデー M. A. K. Halliday の言語と学習の統合的理論に関する研究
中野 和光
(美作大学)

11:40 【全体会】

B-4「幼児教育学Ⅱ」部会

422講義室

9:30～12:30

司会：武内 裕明
(弘前大学)

- ① 9:30 書簡分析を通じたフレーベルの「遊び」理解に関する研究 金原 遼
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 J. コルチャック教育思想の保育学的含意 松浦 明日香
ードイツの保育施設 Kita の実践からー (広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 中国四国地方における多文化共生保育に関する一考察
- 小川 知晶 (川崎医療福祉大学)
 - 小野 順子 (福山平成大学)
 - 山本 房子 (中国短期大学)
 - 田中 卓也 (育英大学)

【休憩10分】

- ④ 11:00 保育の音環境にモンテッソーリ教育法が与える影響 藤尾 かの子
(エリザベト音楽大学)
- ⑤ 11:20 幼稚園教諭養成課程における絵本の解釈に関わる一考察 明尾 香澄
(エリザベト音楽大学)
- ⑥ 11:40 よこはまりズム研修会の特徴 三村 真弓
(エリザベト音楽大学)

12:00 【全体会】

B-5 「国語教育Ⅱ」部会

4 2 3 講義室

9:30 ~ 12:30

司会：山元 隆春
(広島大学)

- ① 9:30 小学校国語科における生きづらさの言語化に関する考察
塚本 彩乃
(関西学院大学大学院・院生)
- ② 9:50 読むことにおける「葛藤」に関する研究
藤本 愛捺
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 「いい子」の歴史の変遷からみる教育的課題
ーことばの学びを中心にー
南 咲貴子
(関西学院大学大学院・院生)
- ④ 10:30 資質・能力を育成する「書くこと」の教育の開発的研究
伊達 梓
(大阪教育大学大学院・院生)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 児童・生徒の相互評価コメントの質的向上のための国語科
授業開発
ー児童・生徒にとって有効な相互評価コメントとはー
黒田 裕太郎
(広島大学附属三原中学校)
- ⑥ 11:20 認識の深まりをめざす『徒然草』学習指導構想の可能性と
課題
野中 拓夫
(四天王寺大学)
- ⑦ 11:40 小学校におけるマルチモーダル・アプローチを活かした国
語科学習指導
松岡 礼子
(至学館大学)

12:00 【全体会】

B-6 「教科教育学Ⅱ」部会

432講義室

9:30～12:30

司会：渡邊 巧
(広島大学)

- ① 9:30 なぜ教師は授業で論争問題を扱わないのか
－公民科教師らを対象としたインタビュー調査から－
吉田 純太郎
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 高等学校における古文教育「語り」に注目して
山口 陽一朗
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 スポーツにおけるシリアスレジャーに関する研究動向
蔡 沐詩
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 中学校音楽科教科書にみる内容比較
－「用語や記号など」に着目して－
須田 珠生
(日本学術振興会特別研究員
(PD))
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 「政治的主体」の育成を目指す社会科単元開発の論理と方法
－「主体的な学び」の批判的検討を通して－
○奥村 尚
(独立研究者)
○高見 史織
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:40 学習者主体の地理教育をつくるための教師の役割
－「カリキュラム・ネゴシエーション」の視点から－
宅島 大堯
(大阪産業大学)
- 12:00 【全体会】

B-7「教育思想・学説」部会

433講義室

9:30～12:30

司会：岡谷 英明
(高知大学)

- ① 9:30 アレント判断論の教育学的意義に関する一考察
藤井 翔太
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 M. オークショットの教育論についての一考察
竹本 晋也
(兵庫県西脇市立西脇小学校)
- ③ 10:10 シュプラランガー『生の形式』100年
ー精神科学的教育学と心理学の批判的対話ー
宮本 勇一
(広島大学)
- ④ 10:30 R. J. バーンスタインの“Praxis and Action”における哲学
と実践の関係
ー「プラクシス」の意味に注目してー
深見 奨平
(宮崎大学)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 「教育の心理学化」に関する学説史的研究
熊井 将太
(山口大学)
- ⑥ 11:20 「消極的自由」と「積極的自由」をめぐって
大橋 隆広
(広島女学院大学)
- ⑦ 11:40 視覚障害児における触覚と教育の考察
ーある授業風景からー
中野 桂子
(筑紫女学園大学)

12:00 【全体会】

B-8 「教師教育」 部会

522 講義室

9:30 ~ 12:30

司会：別惣 淳二
(兵庫教育大学)

- ① 9:30 感情労働論から見た教職の教師の働き方に関する一考察 中島 理志
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 育児期の女性教師が抱える罪悪感と葛藤 川上 由美
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 センシティブな論争問題を扱うことのできる教師の専門性 神田 颯
開発 (広島大学大学院・院生)
— 欧州評議会「論争問題を教える」の理論と方法—
- ④ 10:30 中国における教師の保護者対応 朱 新雅
(広島大学大学院・院生)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 価値探究 (Appreciative Inquiry) の視点による学校の組織 川本 哲嗣
開発に関する研究 (広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 「教師塾」からみる今後の「大学における教員養成」のあり 〇内田 圭佑
方に関する一考察 (広島大学大学院・院生)
〇太田 淳平
(広島大学大学院・院生)
〇川本 吉太郎
(広島大学大学院・院生)
〇藤原 由佳
(広島大学大学院・院生)
〇井辺 和杜
(広島大学大学院・院生)
大矢 龍弥
(広島大学)
佐々木 龍平
(広島大学大学院 院生)
坂本 達也
(広島大学大学院 院生)
- ⑦ 12:00 優れた養護教諭の規定要因に関する考察 久恒 拓也
— 専門性と職務をめぐる言説を中心に— (新見公立大学)

12:20 【全体会】

B-9 「学校経営」部会

523講義室

9:30 ~ 12:30

司会：熊丸 真太郎
(大分大学)

- ① 9:30 コミュニティ・スクールの経営的理論に関する一考察
ー S. ランソンの「学習するコミュニティ」モデルを手がかりとしてー
大空 秀文
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 学級経営におけるケアの位置に関する批判的考察
坂本 達也
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 スクールリーダー教育の「課題研究」を学校にいか位置づけるか
○山本 遼
(大分大学)
○曾余田 浩史
(広島大学)
○金川 舞貴子
(岡山大学)
○大空 秀文
(広島大学大学院・院生)
○曾余田 順子

【休憩10分】

- ④ 11:00 ミドルリーダーの育成に関する一考察
ーミドルリーダーとしての自覚とワーク・エンゲイジメントの関係についてー
○米谷 剛
(広島大学)
○木佐木 太郎
(広島大学)
吉賀 忠雄
(広島大学)
大久保 幸則
(広島大学)
- ⑤ 11:40 学校づくりにおける「アテンション」に関する考察
○曾余田 浩史
(広島大学)
○曾余田 順子

12:20 【全体会】

B-10「音楽教育」部会

525講義室

9:30～12:30

司会：平山 裕基
(広島文教大学)

- ① 9:30 中学校音楽科授業における自己調整学習
- 前川 颯瀬
(広島大学大学院・院生)
井上 翔太
(広島大学附属三原中学校)
伊藤 真
(広島大学)
- ② 9:50 音楽鑑賞教育におけるメタ認知活用
- 田口 有志
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 フランスのフォルマシオン・ミュージカル教本の特徴
ー第2課程(小学校第2学年)を中心にー
- 水入 くるみ
(エリザベト音楽大学大学院・院生)
- ④ 10:30 地域コミュニティにおける市民ミュージカルの可能性
- 四宮 貴久
(岡山大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 小学校音楽科における題材構想と指導の工夫(2)
ー第1学年と第3学年の実践を通してー
- 岡橋 智栄美
(高松市立川島小学校)
- ⑥ 11:20 自己表現能力を育成する音楽科、美術科、外国語科の授業
開発
ー即興、創造、コミュニケーションの視点からー
- 井上 翔太
(広島大学附属三原中学校)
- ⑦ 11:40 ボーカルシンセサイザーを活用した創作活動の可能性
ー2021年度前期までのボーカルシンセサイザーを活用した
授業実践からの考察ー
- 酒井 勇也
(宮崎大学)

12:00 【全体会】

B-11 「高等教育」部会

526 講義室

9:30 ~ 12:30

司会：劉 国彬
(福山大学)

- ① 9:30 中国の大学における学生の進路意識
成 倩倩
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 コロナ禍における保育者養成校の実践
ーオンライン授業による学びー
○荒谷 容子
(岩国短期大学)
○富田 雅子
(岩国短期大学)
- ③ 10:30 私立大学におけるIR機能の整備強化要因
竹内 正和
(大手前大学)

【休憩10分】

- ④ 11:00 比較教育学教育の意義と目的に関する探索的研究
○小川 佳万
(広島大学)
○SUO LUNGA
(広島大学大学院・院生)
○石井 佳奈子
(広島大学大学院・院生)
- ⑤ 11:40 欧州における共同学位の価値に関する研究
ー REDEEM 研究成果を中心としてー
二宮 皓
(広島大学名誉教授)

12:00 【全体会】

ラウンドテーブル1

421 講義室
13:30 ~ 15:30

東アジアの大学入試改革から公平性・公正性 について考える

【企画者】

石井 佳奈子 (広島大学大学院・院生)

【司会者・提案者】

小野寺 香 (奈良女子大学)

日本の入試改革とその公平性・公正性

姜 姫銀 (福岡大学)

韓国の入試改革とその公平性・公正性

小川 佳万 (広島大学)

中国の入試改革とその公平性・公正性

石井 佳奈子 (広島大学大学院・院生)

台湾の入試改革とその公平性・公正性

【企画趣旨】

東アジアの共通点の一つとして熾烈な受験競争の存在が挙げられ、学歴がその後の地位を規定するという考え方がこの競争を支えている。そして大学入試においては、その制度が公平・公正であることが前提として強調される。同時に、もう一つの共通点として、高等教育の量的拡大に伴う大学入試改革も挙げられる。そこでは従来の画一的入試方法が見直され、知識に留まらない多様な学力を評価するための入試方法が模索されている。ここで問題となるのが、従来は筆記試験の結果のみによって合否を判断することで公平さ・公正さが担保されてきたのに対し、多様な学力を測るための入試方法では生徒の態度や意識までもが評価対象となることで評価プロセスや評価項目がブラックボックス化してしまい、制度の公平性や公正性に疑問が生じている点である。以上の背景を踏まえ、本報告では東アジアにおける大学入試改革とその公平性・公正性との関係を明らかにしていきたい。

ラウンドテーブル2

422 講義室
13:30 ~ 15:30

セルフスタディができる教師を育てる —教師と教師教育者のディスカッション—

【企画者・司会者】

草原 和博 (広島大学)

渡邊 巧 (広島大学)

大坂 遊 (周南公立大学)

【提案者】

提案者① 西田 めぐみ (アイスランド大学大学院・院生)

ひとつの種が芽吹くまで：ハイブリッド教師と教師教育者のクリティカルフレンドシップ

提案者② 齋藤 眞宏 (旭川大学)、夏井 一哉 (旭川市立啓北中学校)

学校教師のセルフスタディからの学び：教師教育者との対話から

指定討論者 内田 千春 (東洋大学)

【企画趣旨】

教師教育者(大学教員等)が、自らの教員養成・教員研修の実践に注目し、実践者の信念や実践上の葛藤・困難の背景を探りながら、「教えることを教える」ことの方略や制度上の課題を提起する学術研究の方法論がある。これを「セルフスタディ (Self-Study)」という。セルフスタディは、従来、教師教育者の専門性開発の文脈で注目されてきた。しかし今日では教師の養成や専門性開発の場にも拡張されつつある。このような動向は、教職大学院における実践研究やその指導を考えていく上でも示唆的である。

本ラウンドテーブルでは、セルフスタディを行った経験のある幼稚園教員と中学校教員に、研究の過程と成果、そしてクリティカルフレンドとの関わりについて対話形式で報告をいただく。また (1)「教師がセルフスタディを通して自ら成長していく可能性」と (2)「教師教育者がセルフスタディを通して教師の成長に関わる意味」について議論したい。

ラウンドテーブル3

423 講義室
13:30 ~ 15:30

保育者・小学校教員養成課程で育成すべき音楽の専門性を問い直す
— 4名の教師教育者のセルフスタディをとおして—

【企画者】

武島 千明 (広島大学大学院・院生)

【司会者・提案者】

松本 進乃助 (東北学院大学)

音楽教育におけるロゴスの外に対するアプローチ

平山 裕基 (広島文教大学)

学生の主体的な価値判断をファシリテートする

藤井 菜摘 (九州龍谷短期大学)

〈いま・ここ〉で起こる現象に対峙した実践

山辺 未希 (仙台青葉学院短期大学)

学生の「やってみたい」から子どもの「やってみたい」へ：既存の音楽観への揺さぶりを通して

指定討論 大坂 遊 (周南公立大学)

【企画趣旨】

保育者・小学校教員養成課程の学生が身につけるべき音楽の専門性とはどのようなものか。音楽は、正解が求められない世界であり、子どもが主体的に価値を形成することや、多様な価値を受容することへの糸口となる。しかし、これまで保育者・小学校教員養成課程では、ピアノやリコーダー、弾き歌いなどの音楽技能を身につけることに重きが置かれてきた現状がある。

本企画では、保育者・小学校教員養成課程において音楽関連科目を担当する教師教育者4名のセルフスタディをとおして、「保育者・小学校教員養成課程において、教師教育者はどのように学生の音楽の専門性を育成しようとしているのか」を提案する。提案をもとにフロアの皆さんと交流することで「保育者・小学校教員養成機関で育成すべき、内容に関する専門性とはどのようなものであるか」という議論へと広げたい。

なお、本企画は2022年度－2023年度中国四国教育学会「課題研究」の助成を受けている。

ラウンドテーブル4

522 講義室
13:30 ~ 15:30

ドイツ教授学のアクチュアリティ

【企画者】

松田 充 (兵庫教育大学)

熊井 将太 (山口大学)

宮本 勇一 (広島大学)

【司会者】

熊井 将太 (山口大学)

【提案者】

市川 和也 (大阪成蹊大学)

西ドイツ教授学再訪—クラフキの教授学を中心に—

田中 怜 (育英大学)

教授学における『サイバネティクス』—『死語』か『流行語』か

松田 充 (兵庫教育大学)

教師教育における一般教授学の位置づけ—何のため、誰のための教授学か

宮本 勇一 (広島大学)

世紀転換期以後のドイツ一般教授学の衰退—一般教科教授学の起こりの傍らで—

【企画趣旨】

教授学は、教授・学習過程を研究対象とし、教育の内容と方法を理論的、実践的に探求する学問である。特にドイツにおいて教授学 (Didaktik) は、教育学の中で歴史的に重要な位置づけをもち、日本の教授学、教育方法学にも大きな影響を与えてきた。しかし現在のドイツでは、実証的な研究の高まりを背景に、教授学研究の実証性や現実の教育に対する有効性に疑義が差し挟まれ、ディシプリンとしての教授学は存続自体が危ぶまれる状況となっている。このことは、日本の教授学研究においても他所事ではない。それはドイツ教授学から大きな影響を受けてきたという意味だけではなく、日本においても学習科学や神経科学が授業構成にまで影響を及ぼし、また実証的な教育研究が政策的に推進されるという状況が存在するからである。

本ラウンドテーブルでは、ドイツ教授学の過去や現在を議論することを通して日本の教授学や教育方法学にとってアクチュアリティを展望していきたい。

ラウンドテーブル5

523講義室
13:30～15:30

日本人学校での教職経験者の語りからみる これからの「公教育」像

【企画者】

石井 佳奈子（広島大学大学院・院生）
太田 淳平（広島大学大学院・院生）
川本 吉太郎（広島大学大学院・院生）
高須 明根（広島大学大学院・院生）
藤原 由佳（広島大学大学院・院生）

【司会者・提案者】

高須 明根（広島大学大学院・院生）
趣旨説明
太田 淳平（広島大学大学院・院生）・川本 吉太郎（広島大学大学院・院生）
日本人学校の歴史的背景と制度的枠組みの概要
田口 直也（英数学館小学校）
教職経験者の語り①
服部 美紀（広島大学大学院・院生）
教職経験者の語り②
藤原 由佳（広島大学大学院・院生）
論点提示

【企画趣旨】

日本人学校は、教員免許状を有する教員が派遣され、学習指導要領に基づいた教育活動が展開されている。また、日本人学校の児童生徒には、義務教育教科書の無償給与がなされている。他方で、高額の授業料を設定している学校や入学に際して一定の制約（＝事実上の選抜）を設けている学校もみられる。さらに、日本人学校は、設置国の法令に基づいた管理運営がなされている。このように、日本人学校は、いわゆる「一条校」としては位置づけられず、また日本人学校に在籍する児童生徒は憲法上、普通教育機会の権利保障（義務教育制度）の対象とはならないが、憲法第26条の精神に沿った教育機会が提供されている。

本ラウンドテーブルでは、様々な論点を内包しながら展開する日本人学校について、教職経験者による語りを踏まえ、「未来志向」的に日本の「公教育」の展開可能性を検討し、その輪郭を描き出したい。当日は、自由闊達な議論の場となることを期待している。

ラウンドテーブル6

525 講義室
13:30 ~ 15:30

「歴史的な見方・考え方」を重視する若手歴史 教師のためのオンライン・プラットフォーム

【企画者】

玉井 慎也（広島大学大学院）

【司会者・提案者】

【企画趣旨説明】

玉井 慎也（広島大学大学院）

オンラインでの熟議を踏まえた民主的な授業実践ガイドブックの共同開発プロジェクトの概要

【話題提供1】

佐藤 健翔（浜中町立霧多布中学校）

北海道道東地域における歴史教師の苦悩事例

【話題提供2】

中村 友香（三次市立みらさか学園）

広島県北地域における歴史教師の苦悩事例

【指定討論】村上 遥大（広島大学大学院）・両角 遼平（広島大学大学院）

【企画趣旨】

中国・四国地方が顕著であるように、人口減少社会を背景とした学校の小規模化や統廃合が益々進行し、初任・若手教員ですら各教科教育を一人で担当することが当たり前の時代が到来している。こうした状況下では、若手教員にとってのロールモデルとなる機能を果たす中堅・ベテラン教員が不在し、同一教科の専門家コミュニティが形成されにくい。

2022-23年度・課題研究として助成を受けている本研究では、上記の問題意識を共有する小・中・高校の歴史教師と教師教育に力を入れている広島大学の教員・大学院生でチームを組み、「オンラインでの熟議を踏まえた民主的な授業実践ガイドブックの共同開発」というプロジェクトを実施している。

本ラウンドテーブルでは、北海道道東や広島県北の小規模校で働く歴史教師がいかなる悩みを抱え、その悩みに異なる地域の歴史教師や大学教員・大学院生がいかに働きかけることで解消を試みようとしているかを話題提供する。

大会第二日 12月4日(日)

ラウンドテーブル7

526 講義室
13:30 ~ 15:30

写真を使った記録における研究

【企画者】

田島 大輔 (和洋女子大学)

【司会者・提案者】

松延 毅 (出雲崎保育園)

写真記録を用いた振り返り

和泉 誠 (こどもな一と)

写真記録がもたらす子どもの対話、大人の対話

吉田 茂 (大分ふたばこども園) 中村 章啓 (野中こども園)

写真記録の共有の宛先

【企画趣旨】

保育における写真記録をとりいれている園が写真を使うとどのようなかについての論文。保育記録の中や可視化の材料として写真記録が非常によく使われている。しかしながら、その記録の主体者である保育者がどのような意識を持つか、又保育の質にどのように影響していくのかについて全国での調査を基に考察していく。

